

全血中心筋トロポニンT検出用試験紙 トロップTセンシティブの使い方

1 検体



EDTA全血あるいはヘパリン全血



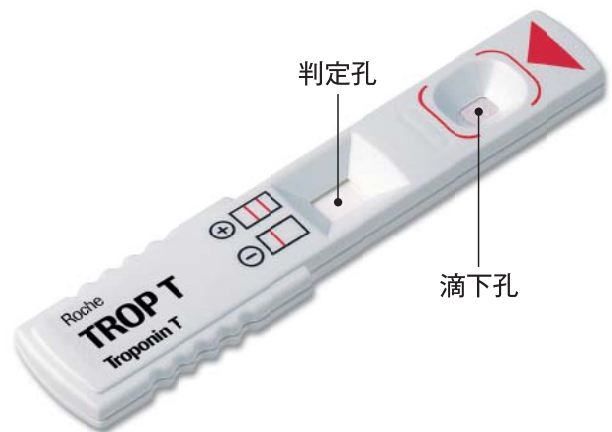
150 μ Lの全血検体を検体滴下用シリンジにとります。(シリンジの線まで全血検体をとると150 μ Lになります)



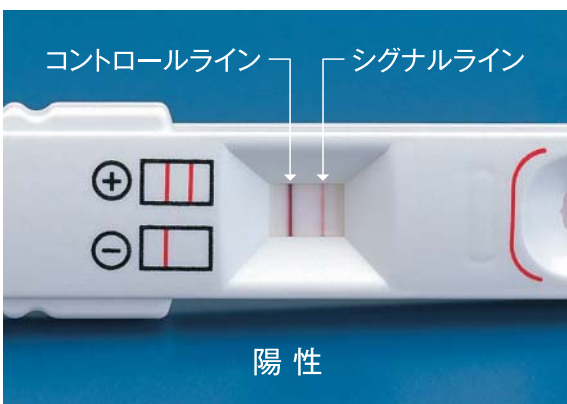
2 検体の滴下



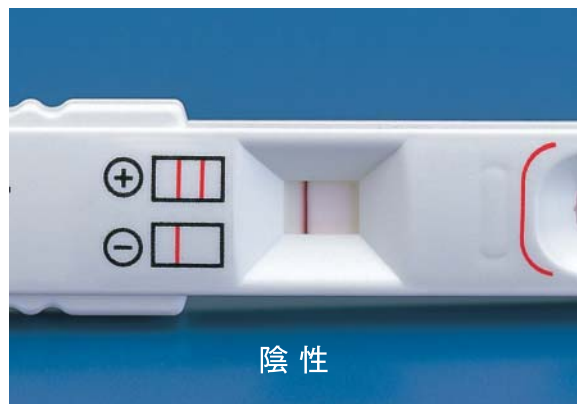
検体滴下用シリンジの全血検体150 μ Lを、試験紙の検体滴下孔に滴下します。検体滴下後15分間静置してください。



3 判定



コントロールラインとシグナルラインの2本が発色した場合は、陽性 \oplus と判定します。



コントロールラインのみが発色した場合は、陰性 \ominus と判定します。

シグナルラインがわずかでも発色した場合は陽性 \oplus と判定してください。

※2本とも発色しない場合は測定不良です。



ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70
カスタマーソリューションセンター ☎ 0120-600-152 <http://www.roche-diagnostics.jp>